（別紙　１）

**記載例**

事　　業　　計　　画　　書

**１．転用行為の必要性**

非農地としての利用目的、必要性をできる限り詳しく記入

**（利用目的・必要性）**

現在、申出地において家族〇人で生活しています。相続をするにあたり登記簿を確認したところ、自宅のある申出地は農地であることが判明しました。建物は平成元年に建てられたものですが、その当時に農振除外申出、農地転用許可申請を行わなかったことが原因だと考えられます。申出地において、３０年以上生活しており生活の基盤が確立されていること、農地への復元は困難であることから、この場所を農用地区域から除外する必要があります。

非農地として利用した経過を記載

**２．土地の選定理由**

平成元年父の名義により申出地に一般住宅を建築。

その後家族〇人で生活。（住民票のとおり）

除外面積の妥当性を具体的に記入

**３．土地利用計画**

**（面積の妥当性）**

住宅敷地として木造２階建４ＬＤＫ　延べ床面積〇〇㎡１棟、駐車場〇台分〇〇㎡、その他敷地（車庫、倉庫など）〇〇㎡の合計〇〇〇㎡を利用しています。敷地内に農地はなく、農業委員会からも妥当であると判断されています。

**（進入路）**

西側国道４号から進入

**（取水・排水計画）**

取　　水・・・さくら市上水道より取水

生活排水・・・合併処理浄化槽を設け敷地内浸透処理

雨水排水・・・周囲をＬ型擁壁で囲み敷地内に砂利敷き、浸透処理

**（造成計画）**

敷地内１ｍ盛土、周囲をＬ型擁壁（1.250㎜）で囲っている

**（周辺農地・土地改良施設への影響・防除策）**

西側は国道に、北側は実家敷地に隣接しており影響はありません。建物の高さは２階建て５ｍであり、東側農地については建物から１０ｍ、南側農地は１２ｍ離隔を取るため、日照・通風への影響は軽微であります。

また、この３０年間で苦情等はありません。

**４．資金計画**

必要経費　　土地取得費　　　円、土地造成費　　　円、

建築工事費　　　円、その他経費　　　円、計　　　円

資金内容　　自己資金　　　　円、借入資金　　　円、計　　　円

必要となる法令等の許可見込み等を確認してください。

**５．他法令等の状況**

　非農地証明願い・・・証明の見込みあり

〇〇年〇〇月〇〇日　さくら市農業委員会事務局　担当〇〇氏に確認

農地法第〇条許可申請・・・許可見込みあり

〇〇年〇〇月〇〇日　さくら市農業委員会事務局　担当〇〇氏に確認

道路法第〇条施工承認申請・・・承認済み

〇〇年〇〇月〇〇日　県土木事務所　担当〇〇氏に確認